世界へのプレゼントになろう

甲府ロータリークラブ会報

第3122回 例会記録
２０１６年２月22日
甲府市相生２丁目２－17
電話　055－237－5475
www.kofu-rotary.gr.jp
info@kofu-rotary.gr.jp
会　長　進藤哲雄
副会長　由井久夫
副会長　細田　俊
幹　事　山口高明

2015－'16年度 甲府RC会長テーマ「足元から」

2月29日 第3123回 例会プログラム

●講師卓話
「会員増強への意識を高める」
高野孫左ヱ門パストガバナー

本日のメニュー
松花堂弁当
帆立貝のバター醤油焼き
ポークソテー焼肉風
レンコンはさみあげ
他

次回例会

３月７日（月）
●今月のお慶び　●米山奨学金の贈呈(期間終了)
●HFに御礼と交換学生にお小遣いの贈呈
●甲府RC奨学金贈呈（２回目）
●講師卓話「新交通システムBRT」について
リニア時代を見据えた新交通システムの概要
山梨交通㈱ 代表取締役専務　雨宮 正英 様

甲府ＲＣ携帯サイト
www.kofu-rotary.gr.jp

Rotary Song　甲府ロータリークラブの歌　ソングリーダー　新 海 照 男

会 長 挨 拶

会　長　進 藤 哲 雄



本日は国際奉仕、理解小委員会担当で青少年交換留学生で当クラブの会員でもある髙村隆義会員より青少年交換学生事業についての卓話をいただきます。

私事ではありますが、私は本日が誕生日で68歳になりました。現在交換学生できているドリーヌさんや送り出している鈴木君と50年以上歳の差があることに、あらためて気づきます。50年と言うとまだ良いのですが、半世紀以上と考えるとものすごく歳をとってしまったように感じます。

又本日ＪＴＢ甲府支店長　鈴木　寛（ゆたか）様が入会いたします。みんなで仲間として歓迎いたします。

３月５日に地区補助金事業として県立図書館に本の寄贈を行います。同時に図書館で「山梨甲府に対して何が出来るのか」をテーマでシンポジウムを開催します。髙野パストガバナー、日銀谷口支店長、丹沢会員など身内のパネラーでコーディネーターは飯野ＮＨＫ局長という経費をかけないアットホームなシンポジウムですのでぜひご参加ください。

では今日の一句です。

石川桂朗（けいろう）　三寒の　四温を待てる　机かな

東京出身、俳人、小説家　冬の終わりの薄日の差す書斎の机が春を待っている作者の気持ちを代弁していて、ほのぼのする句です。

会長挨拶を終わります。

幹 事 報 告

１）例会変更
甲府西ＲＣ　３月10日（木）→３月12日（土）18:00
古名屋ホテル　第2000回記念例会
３月24日（木）→３月26日（土）13:00
ブライダルホール　魚覚
山梨第２分区ＩＭ参加
３月31日（木）　特別休会

２）先週より、富山RC65周年記念式典の参加確認を回覧させていただきます。今週分より「配偶者」の出欠欄とゴルフの確認欄を追加いたしました。ご夫婦のご予定をご確認の上、奮ってご参加の程宜しくお願い申し上げます。

３）先ほどの会長あいさつでもご案内がございましたが、３月５日に行われます、パネルディスカッションの出席確認を、本日より回覧させていただきます。社会奉仕委員会ご担当の「地区補助金事業」でございます。こちらも奮ってご参加のほど、お願い申し上げます。

４）国際大会参加登録の２回目締め切りが近づいていて参りました。当クラブからガバナー輩出且つ、お隣の国での開催という又とない機会です。ご参加を迷われている方は、是非この機会にご英断頂き、３月14日迄に事務局へお申し込みください。

５）ロータリーレート　２月　１ドル＝120円

出 席 報 告

（敬称略）

（会員数　１１２名）

	出席者数	出　席　率
本日の出席	85/107	79.44％
前々回の修正	107/109	98.17％

（出席免除会員18名）

〔本日の欠席者〕
池谷、磯部、小尾、小俣、柿原、加藤（千）、岸本、木田、後藤、小林（照）、阪口、坂本、佐々木、髙野、田邊（護）、内藤（民）、西川（一徳）、野口、平嶋、松村（昌）、茂木、森
以上　22名

〔出席免除会員の本日出席者〕
飯島（忠）、長田（眞）、金丸、笹本、新海（照）、新海（治）、中澤、深澤、古屋、丸茂（紀）、宮城、山本（孝）、横山

〔他ＲＣに出席及びメークアップ会員名〕
２月18日　米山奨学生選考委員会　髙野
２月20日　静岡第２分区ＩＭ　野口、上原（重）
２月21日　静岡第３分区ＩＭ　野口、鶴田

■本日のゲスト　米山奨学生　鐘 佑希さん

■3月5日 地区補助金事業参加依頼の件
地域発展小委員会　杉本　裕昭 委員長

■新入会員紹介（敬称略）



鈴 木　　寛（旅行業）
Yutaka Suzuki
（勤）㈱JTB関東 法人営業甲府支店
支店長
丸の内１－１－８
山梨交通ビル２階　224－4770
ＦＡＸ　224－3510
（自）宮前町７－45
グランディール宮前B203

（鈴木　寛 会員の入会挨拶）

皆様こんにちは。２月１日より株式会社JTB関東 法人営業甲府支店の支店長として甲府に参りました鈴木寛（すずきゆたか）と申します。長い伝統を誇り、格式の高い甲府ロータリークラブの一員として加えていただけることとなり、大変緊張いたしております。どうぞよろしくお願いいたします。

このような機会をいただきましたので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

改めまして、鈴木寛と申します。名字は全国で２番目に多いと言われている鈴木ですが、名前が少し難しく、菊池寛の寛と書いて「ゆたか」と読みます。甲府に着任する以前は、株式会社JTB関東の本社で総務人事の課長を３年間務めておりました。

出身は埼玉県の北部にあります行田市です。特に何もない田舎町ですが、古くは足袋の産地として、最近では10年前くらいにベストセラーとなって映画化もされた『のぼうの城』の舞台として少し有名になりました。石田三成が水攻めしても落とせなかった城として、歴史好きな方はご存じかと思います。現在は同じく埼玉県の鴻巣市に自宅がありますので、甲府には単身赴任で参りました。年齢は昭和45年1月生まれの46歳。家族は妻と中学２年生の娘１人の３人家族です。

ロータリークラブは、2011年の２月から2013年の１月まで、若干２年ですが経験がございます。所属は埼玉県の越谷ロータリークラブでした。親睦委員や会場委員等を務めさせていただき、国際大会もタイのバンコク大会に参加いたしました。

若干の経験はありますが、ロータリークラブに関してまだまだ勉強不足ですので、しっかりと勉強しながらロータリーの理念を体現できるようがんばって参ります。ご指導の程、なにとぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

■会員卓話

「青少年交換学生事業について」

髙村　隆義 会員



青少年育成プログラムの交換留学生の制度について経験者である私からお話しさせて頂きます。

私は、1990年から１年間甲府ロータリークラブの交換留学生の制度で留学を致しました。留学先は、甲府ロータリークラブと姉妹ロータリークラブであるオーストラリアのノーブルパークと言う町でした。

“ロータリーの留学生制度”について基礎的な話ですが、留学期間は、約１年間、対象年齢は、高校生の16歳から18歳です。この事業の目的は、「その国の言語を習得すると共に、これらの生活を通じて、風俗・習慣・文化を見聞しながら国際理解と親善を推薦します。すなわち善意と国際理解のロータリー使節であります。」ロータリーの交換留学制度は単に語学を学びに行くためのものではなく、国際交流のための親善大使の役割も担っています。したがって、派遣先での文化を積極的に知り、自国の文化や歴史を紹介し知ってもらうことが重要であります。また、交換留学生は受け入れ先のホストファミリーに客として接するのではなく、自ら家族の一員として受け入れてもらうように心がけるべきであると私は思います。

留学生制度は国際ロータリーにおける奉仕活動の一つで、その起源は、1929年フランスのニースロータリークラブがはじめたと言われてます。その後、1972年に国際ロータリーで「世界的な平和と理解を推進する価値ある国際活動として」頻繁に交流が行われるようになったそうです。

私の留学決意のきっかけは、1977年に、ノーブルパークから初めて甲府ロータリークラブへ留学してきた留学生、アン・フレミングとの出会いです。それから、多くの留学生を自宅でホストし、留学生と触れる機会があり、このプログラムの良さを知ることができました。親元を離れ、多くの事を学ぶことは、自分を変えるチャンスではないかと感じ、人生のターニングポイントを作るきっかけとして留学を決意致しました。

留学をして何か変化はあったかと、よく聞かれます。それは、十代なかばの人間が一人で留学先に行き、家族、親戚、仲間が一人もなく不安に思う日々がある中、行動や学ぶ事など自己責任で決定する力が養われた事です。その経験が現在の仕事や生活に活かされてるように感じます。

最近では、活発に留学生の制度が行なわれなくなっているように思います。それは、昔と生活環境の違いにあるのではないかと思います。例えば、夫婦で共働きしている家庭が多く、家を空ける時間が増え、コミュニケーションがとれなくなってしまいます。第二に、少子化です。昔は、子供が多かったので一人や二人増えてもさほど生活が変わりがなかったはずです。第三に海外が近くなりました。インターネット、携帯電話、SNSの普及により海外の情報がすぐに手に入り、最近では、特に身近で外国人が生活をしている方が増えてきた為に現地に行かなくても海外の情報が得られる様になり、海外留学の需要が薄れてきたのではないでしょうか。このような理由が重なりあって交換留学の必要性を重視しない方が増えてきていると感じます。しかし、現地でしか味わえない人とのコミュニケーション、現地の風習、文化に飛び込まなければわからない事は大いにあります。インターネットでの知識や情報が増えても、経験に優る物は無いと考えます。

最後に、いくつかあるロータリーの青少年育成プログラムには、財団奨学生制度、米山奨学生制度、交換留学生の制度、ローターアクト、インターアクトがあります。どのプログラムや制度もとても素晴らしい活動をしています。交換留学生の制度は、ロータリーの会員や家族が地域と共に現地の文化を経験させ、地域の窓口として人と人とを繋げる素晴らしい青少年育成プログラムであると思います。海外ロータリーとのコミュニケーションもでき、各国の地域文化を現地の方から直接学べ、文化を肌で感じる事の出来る素晴らしい事業だと思います。今後もこの活動が盛んに全世界で行われることを祈念致します。

（敬称略）

ニコニコボックスご利用のかたがた

甲府ＲＣ

進藤　哲雄、山口　高明
３月５日地区補助金図書館シンポジウムを開きますので、御参加お願い致します。

杉本　裕昭　3/5パネルディスカッションへの参加よろしくお願いします。

鈴木　寛　ＪＴＢの鈴木です。今後ともよろしくお願いいたします。

笹本　森雄　ＪＴＢ 鈴木支店長を紹介させて頂きます。

雨宮　俊彦　ＪＴＢの鈴木寛支店長様の入会を祝して。髙村隆義会員の青少年交換の卓話、楽しみにしています。

小松崎五郎　鈴木寛さん歓迎します。

篠原　義明　ＪＴＢ甲府支店長 鈴木寛様のご入会をお祝い致します。

髙村　昇二　ＪＴＢの鈴木寛氏のご入会を祝して。

土屋　和巳　ＪＴＢ甲府支店長 鈴木寛様のご入会をお祝いします。

中澤　厚男　ＪＴＢ 鈴木支店長の入会を祝して。

由井　久夫　妻の誕生日のお祝いに「可愛いい花」をありがとうございました。

髙村　昇二　何となく。

上原　勇七　髙村隆義会員の卓話、大変楽しみにしております。

・会員卓話：テーマ「青少年交換学生事業について」
・講師：株式会社 ユニオックス　代表取締役　髙村隆義 会員
宜しくお願い致します！

野原　英男、柴山　聡、内海　公博、丸茂　紀彦、清水　元章、大森　泉、丸茂　正樹、雨宮　哲也、丹沢　良治、岡本　洋祐、五味　晃、清水　修一、飯野奈津子、田辺　公久、谷口　文一、山本　孝夫、加藤　吉一、熊倉　浩高、山寺　戦治、鶴田哲嗣郎、成澤　暢彦、遠山　薫、斎藤　訓彦、淡路　啓二、山内　大輔、上原　重樹、小林日登士、川上　明彦、安藤　耕治、飯嶋　均、保坂　勝美、上原　勇七

本日ニコニコ金額　47口 47,000円
ポリオプラス資金へ繰入　4,700円
ポリオ資金累計額　130,300円

（会報委員　髙村隆義）